

# 令和5年度 『校長あいさつ』

堀津小学校校長 安藤 理加

4月7日(金)、27名の新入生を迎え、全校児童162名と教職員25名で、新年度がスタートしました。保護者の皆様がお子さんの健康管理に留意しながら春休みを過ごし、笑顔で送り出していただいたおかげで、よいスタートができました。感謝申し上げます。

私たち職員一同は、子供たちにとって、また、保護者、地域の皆様にとって、よりよい年となりますよう教職員一丸となって教育にあたっていく所存です。

今年度もご理解とご協力をお願いいたします。

さて、子供たちが生きていく未来は、変化のスピードが速く、予測不能な世の中になると言われています。今まで以上に、子供一人一人と向き合いながら、個別最適な教育やよりよい視野をもち予測が難しい社会の中で生き抜く力を付けるための実践的な教育の推進、多様な学びを支援する教育体制の充実、世界に視野を広げられる人材の育成を含め、学校と地域とが一体となって進める教育が必要になると言われています。

しかし、来るべき社会がどのように変わろうとも、私たち教育者の使命は、社会の変化に主体的に対応し、人間性豊かにたくましく生き抜いていく子供を育てていくことだと考えています。

今年度より本校の教育目標を「心豊かに伝え合い たくましくやりぬく子」としました。これは、まさに今の時代を生き抜く子供たちにとっても必要な力、2つを表しています。

## 1 つめは、「心豊かに伝え合うこと」

様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力を高めるために、自分の考えをもち積極的に伝え合える児童、心豊かに表現できる児童の育成を目指します。

## 2 つめは、「たくましくやりぬくこと」

教育活動全体を通して自己決定の場を与え、自ら考えもち、ねばり強くやりぬいていく姿を大事にし、たくましくやりぬく児童の育成を目指します。

子供たちが未来を切り開き、心豊かに生きていってくれることを願っています。そのためにも、将来を見据えながら、目の前の子供たちを教育していく必要があります。今、行っている教育(家庭でのしつけなども含む)は、将来の子供たちへの贈り物(投資)です。

学校、家庭、地域が心をついに、教育(共育)にあたっていきましょう。

今年度も、よろしく願いいたします。

